

町長日記



6月2日の大雨について

今回の町長日記は、「6月2日の大雨」について令和5年第2回由良町議会定例会で報告した内容を掲載いたします。

6月2日の大雨により、被害に遭われた方々に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

同日の大雨は、台風2号及び梅雨前線の影響で線状降水帯が発生したことによるものと考えられ、24時間雨量で421mm、1時間の最大雨量78mmを記録し、由良川、前田川などの急激な水位の上昇などにより、河川の氾濫、田畑や道路の冠水、一部の区間においては通行止めとなりました。

県内の各地域でも甚大な被害を受けましたが、当町におきましても、人的な被害はなかったものの、住家被害では床上浸水が10棟、床下浸水が40棟の併せて50棟、倉庫などの非住家被害で9棟、また、町内で多数の土砂災害も発生するなど、被害の規模は大きく、計304件の被害等の報告があり（6月8日時点です。）、避難を余儀なくされた方もおられます。

我々としても、町民の皆様様の安全を第一に考え、適切なタイミングでの避難指示から、避難所の開設、戸別の避難誘導等を行いました。

すべての警報の解除後は、町内全域の被災状況を把握するため、各区長や被災者の方々にもご協力をいただきながら、現地調査を行いました。

また、建設業者の方々や、消防団員の方々のご協力を得ながら、応急措置などに適宜対応しつつ、必要に応じて県と協議をし、復旧対策を進めております。

今後も、被災者の方々の気持ちに寄り添って、早期復旧に向けて全力で取り組んでまいります。

なお、復旧に一定の見通しがついた後には、この災害を教訓として、防災・減災対策の充実に努めてまいりたいと考えております。

由良町長 山名 実